

2016.9.26

◎珊瑚のムシについて

岩崎望さんより

先日のハンドリングゼミで話題になっていた珊瑚の「ムシ」についてお知らせいたします。

珊瑚の「ムシ」

珊瑚には数多くの小さな穴が空いたものがあります。珊瑚を保管中に虫に喰われたものと誤解する向きもありますが、これは海中に生息している時に形成されたものです。穴をあけるのは、海綿です。海綿は下等な動物です。海綿動物のうちセンコウカイメン科に属するものは、サンゴ骨格や貝殻、石灰岩に酸を分泌することで穴をあけ、そのなかで生息しています。因みに、入浴時に使用するスポンジは、海綿の骨格です。地中海では、ベニサンゴに被害を与えることから問題視されています。日本では、多くの孔が穿たれた珊瑚は「ムシ」や「ムシクイ」と呼ばれています。それを玉に加工したものは「すだま」と呼ばれており、簪などに用いられています。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>

※返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com

幹事 戸倉博之 spina@precious-chroma.com